

インフラの老朽化 路面下空洞調査に関する 先進技術への評価は

破壊をせず診断ができる
優れた技術と評価している

遠田 宗雄 議員(公明) インフラの老朽化に伴い、市道等における路面下の空洞調査や対策が早急に必要と考える。空洞調査に「スケルカ」と



行政管理局長 市地域防災計画における避難場所の見直しに伴い、広域避難場所の位置を示す誘導標識の修正に

いう先進技術があるが、市の認識と評価を聞きたい。都市整備部長 同技術は高解析センサーを使用し、マイクロ波を照射することにより路面下にある異常を発見する技術であり、路面下の状況を破壊することなく診断ができる優れた技術であると評価している。

多摩地域においては、武蔵野市及び国立市が実施していると聞いている。議員 インフラに関しては、避難誘導標識やいつとき集合場所の整備などもあると思うが、今後の予算計上の見込みを聞きたい。

本市の学校教育に 取り入れる考えはないか

現時点では同予防教育を取り入れる考えはない

田村 智恵美 議員(ネット) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律、いわゆるDV防止法では、DVを「夫婦、同棲相手、恋人同士などの親しい間柄でおこる暴力」と定義している。

特に交際相手との間で若者等が起す暴力をデートDVというが、市ではこれをどのように認識しているか。市長 国の調査では、被害者自身がデートDVという言葉の意味を理解していないことや暴力と認識できず愛情表現

西府駅周辺の地下通路に エレベーターを設置する考えは

設置は難しいと思うが
今後の課題にしたいと考える

赤野 秀一 議員(共産) 西府駅周辺では、南武線を挟む南北を自転車で行き来する場合に地下通路を通る必要がある。子どもや高齢者などが上り下りに苦労している。

そこで、地下通路におけるエレベーターの設置を検討できないか。下水道・地区整備担当理事 地下通路の北側階段口付近が道路と線路に挟まれており、用地がないため、設置ができない状況にある。議員 付近には市の植栽や

容器包装プラスチックの 有料収集を見直す考えは

ごみ減量等の効果があるため
見直しは考えていない

前田 弘子 議員(ネット) 市広報によると、市が搬出した容器包装プラスチックは検査機

と結果を聞きたい。生活環境部長 指標は、有料袋内のレジ袋などが破れているかどうかの破袋度と容器包装プラスチックの比率について良い順でA、B、Dの3段階評価、医療系廃棄物や危険物等の混入についてA、Dの2段階評価となっている。



▲容器包装プラスチックの分別作業

平成25年度の結果では、破袋度がD、容器包装プラスチックの比率がB、危険物等の混入がDであった。議員 容器包装プラスチックについて、ごみとして有料で収集することをやめ、資源として収集する仕組みに見直す考えはないか。生活環境部長 処理には一定の経費が掛かっていることに加え、有料化によってごみの減量・分別の効果が上がっていることから、現時点での見直しは考えていない。

小柳幼稚園付近における 六中通りの交通安全対策は

信号機設置の要望や
看板の設置などを行っている

目黒 重夫 議員(共産) 小柳幼稚園付近の六中通りは、直線で信号機がないことからスピードを出す車



▲六中通り(小柳幼稚園付近)

止対策の実施、歩道へのガードレールの設置などがあつた。市の取組については、信号機の設置を府中警察署に要望しているほか、スピード抑止対策として、「スピード落とせ」などの看板を設置して運転者に対する注意喚起を行っている。しかしながら、ガードレールの設置については、歩道幅が狭くなるため、車いすなどの通行に支障が出る恐れがあり、難しいものと考えている。今後は、信号機の設置を改

雑誌スポンサー制度は 有効な手段と考えるが 情報収集の可能性について

吉村 文明 議員(公明) 市立図書館では、サービスの向上や財源の確保に向けた取組を行っているか。市長 図書館ホームページにバナー広告欄を設け、スポンサーを募集して広告料収入の確保に努めている。

図書館における新たな財源の確保については図書館サービスの充実につながる重要なものと捉えている。議員 近年、企業や団体、または個人が、図書館に所蔵する雑誌の購入代金の全額、も

幸福量指標について研究し 市政世論調査等の評価項目に 付加していく考えは

荒川区等による
幸福度指標に関する
取組も研究していきたい

西村 陸 議員(公明) 市民の生活における満足度を維持、向上していくための取組について、市の考えを聞きたい。政策総務部長 市政世論調査等の結果を踏まえた上で各施策の優先化を図り、事業を展開していく必要があるものと考えている。

議員 ブータン王国で提唱された国民総幸福量や荒川区での区民総幸福度など幸福量指標について研究し、同調査等の評価項目に付加していく考えは。政策総務部長 ブータン王国では、精神面での豊かさを値として国民全体の幸福度を評価する国民総幸福量が政策を進める上での基本方針となっている。本市では市民の幸福度を把握した上で、その向上に寄与する施策を実施していく必要があるものと考えている。現在、施策等への満足度を調査し、施策の方向性の決定に役立てているため、荒川区等による幸福度指標に関する取組等も研究していきたい。

めて要望するとともに、引き続き地域住民の方と話し合いながら、対策を検討していきたい。市民生活を守る基金計画を